

7 さいたま輝き荻野吟子賞



埼玉県では、本県出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子（おぎのぎんこ）」にちなみ、その不屈の精神を今に伝える先駆的な活動をしているなど、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人や団体、事業所の方々に「さいたま輝き荻野吟子賞」を贈っています。

この表彰制度は、女性と男性が個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画することができる男女共同参画社会づくりを推進するとともに、埼玉の偉人である荻野吟子を顕彰するため、平成17年度から実施しています。

■対象者

きらきら輝き部門	県内に在住（勤・学）若しくは県出身又は県内に所在し、先駆的な取組などにより各分野で特に功績が著しく今後の活躍が期待できる個人又は団体
さわやかチャレンジ部門	県内に在住（勤・学）又は県出身で、各分野にチャレンジし、今後さらなる活躍が期待できる年齢40歳未満の個人
いきいき職場部門	県内に所在し、男女が共同して参画することができる職場づくりに積極的に取り組んでいる事業所

●●●●●●●● 第15回(令和元年度)受賞者 ○●●●●●●●

きらきら輝き部門

※敬称略

おかだ まり
岡田 磨里（脚本家・映画監督）

秩父を舞台としたアニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」や劇場版アニメ「心が叫びたがってるんだ。」「空の青さを知る人よ」の脚本を執筆。秩父をアニメの聖地にしたヒット作となる。平成30年劇場版アニメ「さよならの朝に約束の花をかざろう」で監督デビュー。このほか、TVアニメ、実写版映画等の脚本を数多く執筆するヒットメーカーとして広く活躍している。（秩父市出身）

さわやかチャレンジ部門

※敬称略・五十音順

いしだ ななせ
石田 七瀬（ものづくりコーディネート会社経営）

年々減少する町工場が抱える悩みを解決し、後世までその技術・知恵を伝えるため、「工場のお医者さん」を目指し日々活動している。町工場ツアーや町工場の素晴らしさ発表会などを開催し、町工場の販路拡大や参加企業同士の取引成立などに実績を上げている。6人の子育ての経験を生かしつつ、男性社会の町工場の職人気質の方々とコミュニケーションを図りながら活躍している。（川口市在住）

よしかわ ゆみ
吉川 由美（ブランドアンバサダー）

ブランドアンバサダー。(株)ベンチャーウイスキーにおいて、企業のビジョンやその魅力を発信する「ブランドアンバサダー」として、同社のウイスキーブランド「イチローズモルト」の認知度向上に尽力し、同社のウイスキーの国際的な品評会での数々の受賞につなげている。自身もアイコンズ・オブ・ウイスキー2019で日本人初の「ワールドウイスキー・ブランド・アンバサダー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。令和元年、秩父市内に英国パブを開業するなど、ウイスキーを通じた埼玉県及び秩父地域の振興にも多大な貢献をしている。（秩父市在住）

いきいき職場部門

※五十音順

田部井建設株式会社（熊谷市）

総合建設業。女性の技術者を積極的に採用・配置しているほか、仕事と家庭生活の両立支援として、社員が通院、介護、保育園・学校行事への参加などをしやすくするため、半日単位・時間単位の有給休暇取得を促進している。また、事務系女性社員が現場を巡回し気づいたことを提言したり、女性の取締役会長を中心に女子会ランチを開催し社員の率直な意見を引き出すことで、安全かつ働きやすい職場づくりに活かすなど女性の能力を積極的に活用している。

戸田中央医科グループ（戸田市）

戸田中央総合病院を中核とするグループ。最大200名預かり可能な院内保育所など、グループ内24の施設に院内保育所を整備し、仕事と子育ての両立を支援している。女性次世代リーダー研修や事務長育成研修を実施し、女性管理職の育成にも力を入れているほか、育児・介護等、働き手の事情を考慮し、グループ内施設への異動に柔軟に対応している。また、行政や民間を巻き込んだピンクリボン運動の普及にも積極的に取り組んでいる。